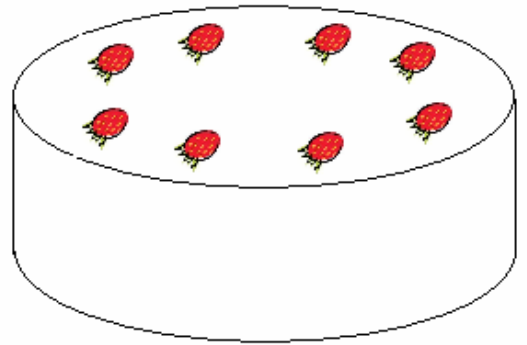
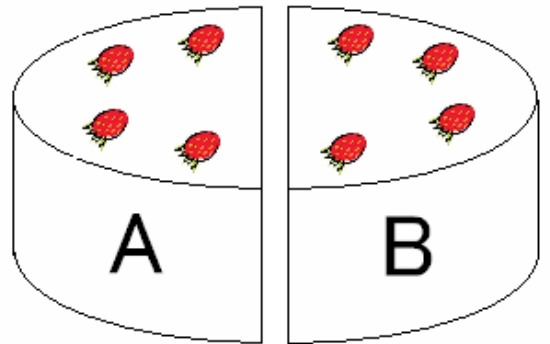


～基本的な考え方～

右の絵はケーキです。  
このケーキを1個とします。  
1個ですので、数字では「1」とあらわします。



1個のケーキを半分に分けました。  
半分にすることで、2つに分かれましたね。  
分けたケーキをそれぞれA・Bとします。



Aは、ケーキを「2つにわたったうちの1つ」です。  
これを  $\frac{1}{2}$  (にぶんのいち) と表現します。

$\frac{1}{2}$  とは、「2つにわたったうちの」「1つ」という意味です。

もちろんBも  $\frac{1}{2}$  と表現することができますね。

また、 $\frac{1}{2}$  という表現には、もう1つ意味があって、 $1 \div 2$  という意味もあるのです。

1個のケーキを2つにわたった…つまり「 $1 \div 2$ 」ということですね。

$1 \div 2$  を計算してみましょう。  $1 \div 2 = 0.5$  ですね。

ということは、 $\frac{1}{2} = 0.5$  と表現できちゃうわけですね。覚えておきましょう。

ちなみに  $\frac{1}{2}$  の、上にある数字(この場合は1)を「分子(ぶんし)」といい、

下にある数字(この場合は2)を「分母(ぶんぼ)」といいます。  $\frac{1}{2}$

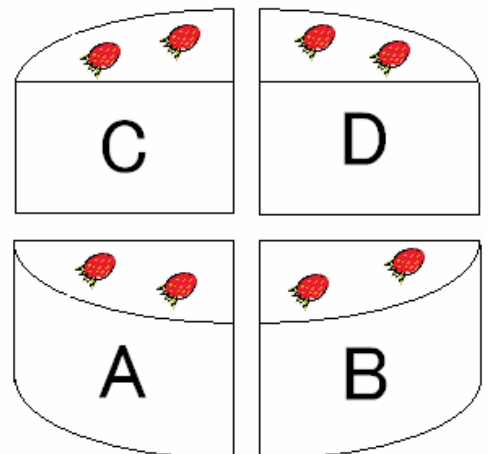
では、右の絵のように4つに分けた場合はどうでしょう。

AもBもCもDも、4つにわたったうちの1つですね。

ですので、それぞれ  $\frac{1}{4}$  と表現することができます。

例えば、AとBとCの3つを選んだ場合は…

4つにわたったうちの3つなので  $\frac{3}{4}$  と表現します。



お店でよく見るケーキは、だいたい  $\frac{1}{8}$  ぐらいの大きさですかねえ。